

将来の職業は？

科学技術の進歩には驚かされる。身近なところでは携帯電話がある。お笑いの世界でバブル期のショルダーバック並みの携帯電話のネタで笑いを誘っている芸人がブレイクしているが、当時は羨ましかったのを覚えている。今では腕時計型の電話もあり、インターネットまでできる。近い将来、自動運転の車が販売されるという。転倒しないバイクも展示会で世界から注目を浴びている。コンビニの無人化も進んでいる。高齢化社会を支えるための生活支援ロボットも進歩している。歩行のための装着型支援ロボットは高齢者の歩行困難者の自立歩行を可能にする。科学技術の最先端のひとつにAI(人工知能)がある。SF映画の『ターミネーター』シリーズでは人間と人工知能「スカイネット」との戦いを描いている。映画の中のAIは自分で考え、判断し、決断し実行していたが、そこまで進化するはずはないと誰もが思っていた。しかし、現在自分で学習し進化するコンピューターが開発されているという。SFの世界が実現化されてきているのである。科学技術は私たちの生活に安全・安心や利便性、豊かさをもたらすことを目的に発展してきたが、その科学技術が将来、人間に取って代って労働を担うかもしれない。現在でも、単純作業はロボット化によるオートメーション化が進んでいる。

2015年末に野村総研から「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」という研究結果が発表された。(*1) また、アメリカでは、「2011に小学校に入学した子どもたちの65%は大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」という大学教授の研究予測もある。

科学技術の進歩により職業が多様化する社会のなか、日本の企業が就職する学生に求めるのは、コミュニケーション能力、主体性やチャレンジ精神であるといえます。専門性はもちろんのこと、どのような状況においても柔軟に対応できる資質が重要視されています。

豊玉高校の今年度卒業生は、就職面接において、柔軟な対応力を発揮し見事に希望職種に合格しました。これは間違いなく、豊玉高校の教育目標と教育活動の成果です。在校生の皆さん、豊高で学ぶことに自信と誇りを持ってください。そして、次年度のさらなる伸長を目指して共に学び続けましょう。



(*1) 参照 株式会社野村総合研究所 2015/12/02 NEWS RELEASE

長崎県立豊玉高等学校 校長 横田 正俊

2月 学校行事報告

5日(日)に、第38回豊玉マラソン大会に陸上部と希望者が出場しました。

○男子の部

- 優勝 阿比留正貴君 (3年)
- 2位 斉藤瑠樹君 (1年)
- 4位 川本先生 (教員)
- 6位 扇礼弥君 (1年)



○女子の部

- 2位 永留彩さん (2年)

350名を超える小中学生の前で頑張る豊高生の姿がありました。

2月15日(水)に労働条件セミナー、福祉のしごと基礎講座が実施されました。

労働条件セミナーでは、労働基本法についてやアルバイトの契約時に注意すべきところを、ワークショップを行いながら学ぶことができました。

アルバイトであっても上司の無理なお願いを断る権利があることがわかってよかったです。
2年江口愛理さん(西部中出身)



就職してトラブルに巻き込まれたときに今回学んだことを役立てていきたいです。

1年早田侑里さん(豊玉中出身)



福祉のしごと基礎講座では福祉のしごとのやりがいや働いてよかったことをお話していただきました。



2年佐伯龍伍君（雞知中出身）
働く人が楽しみながら接することで入居者の方々も楽しく生活できているのだと思いました。



1年八坂花奈さん（東部中出身）
介護・福祉の仕事の裏側まで知ることができ、改めて介護職に興味を持つことができました。

27日（月）に支援会議やPTCAの方々と一緒にもちつき大会を実施しました。終了後は、“ずんだれ”によるライブが開催されました。



3年古藤仁子さん（豊玉中出身）
みんなでもちをついて、最後にいい思い出ができてよかったです。特にきなこもちがおいしかったです。



3年青木勇人君（厳原中出身）
リズムに合わせてつくのが難しかったけど、楽しくつくことができました。ついたお餅は、あんこの相性が抜群でした。



記念品をいただきました。



今年最後の
全校
集合写真



の行事予定

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1日（水）卒業式 | 15日（水）容儀検査 |
| 2日（木）・3日（金）あいさつ運動 | 23日（木）郷土料理づくり |
| 7日（火）高校入試設営 | 24日（金）大掃除・終業式 |
| 8日（水）～10日（金）
高校入試・自宅学習期間 | |

